



「実用的な軌道技術報告会」を開催しました

2019年11月27日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「実用的な軌道技術報告会」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研では、各技術分野について実用的な成果を製品やパネルの展示を用いて紹介するとともに、今後のマーケティングの参考とするため参加者の皆様からご意見を伺う交流会を開催しております。このたび、軌道技術分野に関する交流会の一環として「実用的な軌道技術報告会」を開催し、鉄道事業者を中心に30社、89名の方にご来場いただきました。成果の紹介として参加者の皆様に実物の見学、展示パネルやシステムの画面や動作等をご覧いただくとともに、参加者の皆様と説明者等との間での技術的な質疑や今後の展開に関する意見交換を行いました。

【今回のポイント】

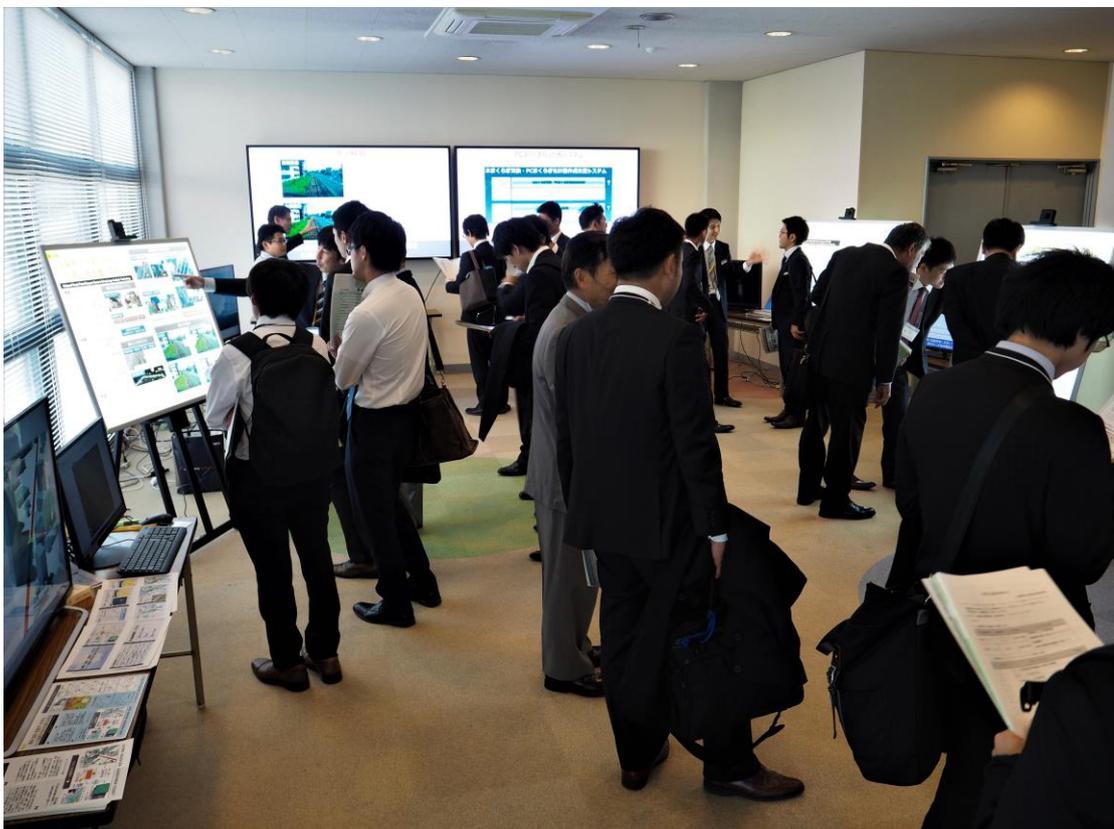
鉄道総研では、低コストで持続可能な線路を目指して、ICTによる軌道メンテナンスのシステムチェンジ、軌道メンテナンスの省力化、レール・軌道材料の維持管理の効率化に関する研究開発に取り組んでいます。今回、こうした研究成果から実用化段階にある3件の成果見学と14件の成果展示を行いました。

【実用的な軌道技術報告会】

1. 開催日時：2019年11月15日（金）14時から17時
2. 場 所：鉄道総研 国立研究所
3. 成果見学（所内試験線）
 - (1) S型弾性まくらぎ直結軌道
 - (2) 地域鉄道に適した低コストロングレール軌道構造
 - (3) 軌道支持剛性評価装置（RFWD）デモ
4. 成果展示（インタラクションスクエア）
 - (1) ICTによる軌道メンテナンスのシステムチェンジ
 - 低コスト動的軌間・平面性測定装置
 - 画像解析技術を活用した列車巡視支援システム
 - LABOCSによる軌道状態診断と保守計画策定支援ツール
 - 浮きまくらぎの検出方法
 - 建物・地形・気象データからレール温度分布を予測する手法
 - (2) 軌道メンテナンスの省力化
 - まくらぎ直結軌道用伸縮継目の弾性支持構造
 - S型弾性まくらぎ直結軌道
 - 軌道支持剛性測定装置（RFWD）
 - 既設線省力化軌道（SFC てん充道床軌道）
 - ラダー軌道
 - (3) レール・軌道材料の維持管理の効率化
 - レール波状摩耗管理のための各種測定ツール
 - レール頭部きず補修工法
 - レールき裂進展・寿命予測と寿命延伸手法
 - 打音による損傷まくらぎの検知手法



成果見学（S型弾性まくらぎ直結軌道）



成果展示